

# 学校体育セミナー 陸上競技

開催日：令和3年11月18日(木)  
場所：ひなた武道館 主道場  
講師：えびの市立飯野中学校  
教諭 吉國 敬一

## 講義・協議「運動が苦手な生徒に対する手立」



午前中に行われた、講義・協議の様子=12月2日、大会議室で

～新学習指導要領の趣旨を踏まえた陸上競技の指導の在り方について～

令和3年11月18日、令和3年度体育・保健体育指導力向上研修(西部ブロック)の伝達講習『学校体育セミナー(陸上競技)』を、ひなた武道館主道場にて、えびの市立飯野中学校 吉國 敬一 教諭を講師として開催しました。

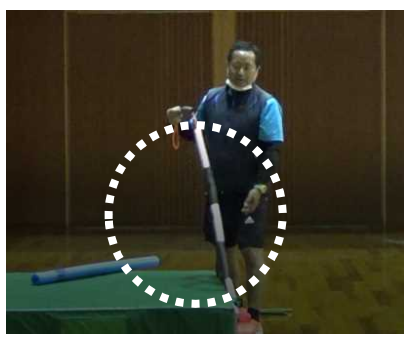
公立中学校の教諭・講師7名、県立、私立高等学校の教諭・講師6名、合計13名の参加がありました。

中学校は、令和3年度から完全実施、高等学校は、令和4年度から年次進行で実施の新学習指導要領の考え方を踏まえた内容の伝達が行われました。

また、吉國教諭から、陸上競技専門の立場で、競走、跳躍、投てきの種目について、多数の活動内容が紹介され、参加者は実際に実技を行いながら講習が進められました。参加者からは、「色々な方の授業実践事例が聞けたので、とても良かったです。」と大変好評でありました。

## 専門的な立場から、各領域の内容で具体的な指導方法が示された実技

～中学校の実践例を踏まえた実技～



[競走]バトンの受渡しの導入に行う、A4用紙を用いたリレーの活動の様子(写真:左)。[跳躍]走り高跳びを行う際に、バーに当たった時の痛みに対する恐怖心を無くすため、スポンジをつなぎ合わせて作った柔らかいバー(写真:中央)、[投てき]簡単に投動作を行うことができるジャベボール(写真:右)。

### 新学習指導要領のポイント

- ①陸上競技は、従前どおり、「競走」「跳躍」「投てき(高校)」で構成。バトンの受渡しの指導内容を新たに示した。
- ②資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)を踏まえた(指導)内容構造の見直しにより、三つの柱をバランスよく指導することが求められます。
- ③(小中高)12年間の系統性を踏まえた指導内容の見直しにより、3年間の見直しを持ったカリキュラムマネジメントが求められます。

### 担当の目

西部ブロックが、オンラインで開催となったため、講師は、自分の指導実績のある事例や、オンラインで紹介されている事例を数多く準備し、本講習内容を構築していった。特に「実技」では、生徒が興味を持ちそうな用具を準備し、体験を踏まえた講習となった。

今後、今回の講習を契機に、県全体の教員のつながりにより講習内容が更に広まることを期待したい。